

ATHENA LIBRARY OF ENGLISH STUDIES

Part 8, Vols 29–33: Cultural History, Second Series

ISBN 978-4-86340-041-2 ・ 全5巻セット定価(本体95,000円+税)

ロンドン劇場史

ヴィクトリア朝期のロンドンにおける人口急増、鉄道網の発展によるひとの移動の活発化、独占的だった劇場運営に変化をもたらした1843年劇場法制定——時代の変化によって大きく変わっていくロンドンの劇場について、定評ある研究書を集成。現在に続く有名なコヴェント・ガーデンについては、オペラの記述を含む歴史書を加えた。

Volume 29: Henry Barton Baker *History of the London Stage and Its Famous Players, 1576–1903* (1904)ISBN 978-4-86340-042-9 ・ 574 pp., 10 pl.
定価(本体¥21,000円+税)

ロンドンの劇場の歴史に関する近代的な研究書として最初のもの。時代別、地域別にまとめられ、それぞれにおいて良く知られた俳優についての記事、報道を載せている。19世紀後半の劇場や役者については著者自身の個人的な評価も記されていて生き生きと読み取ることができる内容。

本書は1899年に出版された *The London Stage: Its History and Traditions from 1576 to 1888* の改訂増補版。1888年以降、1903年まで書き加えられている。

The Elizabethan and Stuart Theatres • The Restoration Theatres • Bygone West End Theatres Built during the Eighteenth and Nineteenth Centuries • The West End Theatres of Today • The West Suburban Theatres • The Northern Theatres • The Southern Theatres • The East End Theatres • Index

Volume 30: Erroll Sherson *London's Lost Theatres of the Nineteenth Century, with Notes on Plays and Players Seen There* (1925)ISBN 978-4-86340-043-6 ・ 406 pp., 29 pl.
定価(本体¥19,000円+税)

ロンドンの、かつて存在した劇場の懐古的な通覧。多くはすでに取り壊されたか、あるいは映画館やレヴュー、ホテルのようなより大衆的な娯楽施設に改修されたかしている。著者は1860年代から熱心に劇場通いを続けた人物であり、本書は本人と劇場関係者——俳優、女優、劇場支配人など——の回想を中心にして、それに劇場専門雑誌の記事や同時代の新聞に寄せられた演劇についてのコラムを加えて構成されている。

Foreword by Mrs Kendal • Looking Back • The Grecian Theatre, with Notes on Melodrama and Pantomime • London's Lost Theatres of the East End • Astley's • The Olympic Theatre • The Princess's Theatre • The Two Theatres in Holborn and the Pantheon Theatre • The Queen's Theatre, Long Acre • The Old Strand Theatre, with Notes on Burlesque • The "Rickety Twins": The Globe and the Opera Comique Theatres • The Philharmonic Theatre, with Notes on Opera Bouffe • The Marylebone Theatre and the Two Alexandra Theatres • The Imperial Theatre and Toole's Theatre • The Bower Saloon and Other Minor Theatres • Richardson's Show and Other Booths • The Private Theatre at Campden House, Kensington • The Lost Theatres of Toyland • Audiences of the Past and Present • Index

Volume 31: Watson Nicholson *The Struggle for a Free Stage in London* (1906)ISBN 978-4-86340-044-3 ・ 490 pp.
定価(本体¥19,000円+税)

アメリカの学者による、劇場特許状に関する先駆的な研究。1662年にチャールズ2世によって認可された特許状から1843年の劇場法による独占の廃止まで、Drury LaneとCovent Gardenの独占権を無効にしようとした様々な取り組みを記している。

本書には、特許状や許可証、契約書、国王への請願書、警察の調書や法廷記録、議会議事録など、あらゆる関心から利用できる資料が収録されていて幅広く活用でき、この点においても利用価値が高い。

The Theory and Practice of Theatrical Monopoly during the First Half Century of the Patent Theatres • The Rise of the Haymarket and Goodman's Fields Theatres and Their Effect on the Question of Patent Rights • The Licensing Act: The Causes Producing It, and the Attempts to Regulate the Stage before the Passage of That Act • The Licensing Act in Practice, 1737–87 • The Royalty Theatre • A Summary of the Conflicting Theatrical Legislation in England at the Close of the Eighteenth Century • From the Rebuilding of Covent Garden and Drury Lane to the Burning of the Great Theatres • The Attempt to Establish a Third Theatre: Privy Council Proceedings and Proceedings in Parliament • The Rise of English Opera, and the War of Encroachments • Majors vs. Minors • The Dramatists vs. the Monopoly • The Lord Chancellor's Opinion and Knowles's Petition for a Third Theatre • The End of the Struggle • Index

Volumes 32 & 33: Henry Saxe Wyndham *The Annals of Covent Garden Theatre from 1732 to 1897* (1906)ISBN 978-4-86340-045-0 ・ 2 vols ・ 776 pp., 42 pl.
定価(本体¥36,000円+税)

Covent Garden Theatreはロンドンに現存するもっとも古い劇場の一つで、壮麗さや有名なことについても一、二を争う。「シアター・ロイヤル、コヴェント・ガーデン」の公式名称で設立、現在では「ロイヤル・オペラ・ハウス」として知られ、ロイヤル・バレエ団、ロイヤル・オペラ、ロイヤル・オペラ・ハウス・オーケストラの本拠地でもある。開設以来、一流の演劇作品やバレエをはじめ、グリマルディのバントマイムなど大衆的なものまで幅広い舞台芸術が上演されてきた。1847年にオペラハウスとなって以後現在に至るまで数多くのオペラのイギリスでの初演がここで掛かっている。本書はこのコヴェント・ガーデン・シアターの18世紀から19世紀の歴史を包括的に記した定番書。

Vol. 1: 1732–1819 • **Vol. 2:** 1819–97 • Appendices: Chronological List of Patentees, Lessees, and Managers; Principal Events; Notes on Portraits, etc. • Index

大衆演劇に見る近代イギリス庶民の底力

原田 範行 ●東京女子大学教授

たとえば馬上槍試合、流鏑馬、競馬。洋の東西を問わず、古来、馬は人間に寄り添い、その文化形成に関わってきた。近代英文学の傑作「ガリヴァー旅行記」(1726年)にも、馬はたびたび登場する。フウイヌム(馬の国)はもちろんだが、リリパット(小人国)で、ガリヴァーが皇帝のために考え出した遊びもそうだ。四方に立てた棒にハンカチを結びつけ、その上でリリパットの騎兵隊が模擬戦をするという、あの場面である。

面白いことにガリヴァーの考案したこの遊びは、半世紀後、故郷イギリスで現実のものとなる。しかも、皇帝の慰みではなく、広く庶民に支持された娯楽として、である。1770年、元騎兵フィリップ・アストリは、テムズ川南岸サザックに粗末な舞台小屋を建てた。かつてのグローヴ座からもそう遠くはない。舞台上上がったのはジブラルタルという白馬。イギリス海軍の拠点と同名の馬が舞台上上がり、巧みな芸当を見せては観客がこれに喝采を送るというわけである。のちに「アストリの円形劇場」として一世を風靡した大衆劇場はこうして始まった。ジェイン・オースティンの「エマ」(1816年)で、ロバート・マーティンとハリエット・スミスが観劇したのも、この「アストリの円形劇場」だ。

近代イギリス文化を考えるポイントの一つは、庶民が文化の形成に実質的な関与をしていた、という点である。ジャーナリズム、コーヒーハウス、小説の誕生、出版の自立、民主政治のはじまり、公共圏の成立といった事象に象徴されるように、社会の諸制度と文化が、啓蒙専制君主によってではなく、庶民の間で自然に醸成されていく。まさにこの過程をはっきりと見て取れるのが、「アストリの円形劇場」のような娯楽としての大衆演劇の勃興であると言える。周知の通りイギリスでは、王政復古後、チャールズ2世がトマス・キリグラーとウィリアム・ダヴィナント

の二人に劇団設立の勅許を与え、それぞれが、「ドゥルアリー・レイン」「コヴェント・ガーデン」という名劇場に発展した。だが、この二大劇場は、特権が廃止される1843年に至るまで、本格的な演劇の上演を独占してしまう。シェイクスピア劇もそうだった。おまけに1737年には、演劇に関する事前検閲法が施行され、反体制的な中小の劇場ならではの風刺劇や笑劇はほとんど壊滅してしまうのである。ところがここで終わらないのが、イギリス庶民文化の底力。18世紀末には、中小の劇場が息を吹き返して演劇の形態が多様化し、逆に二大劇場の方が、庶民の享受する多彩な演劇文化に対応しきれないという事態に追い込まれていくのである。「アストリの円形劇場」は、まさにこうした新興演劇の代表格であったというわけだ。

「イギリス研究基本文献シリーズ」第8部として今回復刻刊行される4点は、こうしたイギリス大衆演劇と庶民文化の勃興を詳細に記した一級資料である。*History of the London Stage* は、3世紀半にわたる演劇史の最も基礎的な文献の一つで、中小の劇場を含め、記述は精密そのもの。*London's Lost Theatres* は、大衆演劇の勃興を支えつつも姿を消した小劇場の盛衰を劇場ごとに記したものだ。*The Struggle for a Free Stage in London* は、二大劇場の繁栄と変容をもたらした勅許制の光と影を明快に論じた先駆的研究書。そして*The Annals of Covent Garden Theatre* は、変革の時代を生き抜いた名劇場「コヴェント・ガーデン」の詳細な記録である。いずれも20世紀初頭に刊行されているが、これが今日重要なのは、これまで述べてきた大衆演劇と庶民文化の息遣いがなお現実に感じられる時代にあって、その詳細を後世に残そうという強い意志が反映された文献であり、二つの世界大戦を経て大きく変容した現代のロンドンを念頭に構築されるものとは全くと言ってよいほど質の異なるものだからである。しかもこれらの文献は、重要な資料を包括的に収めていながら、今日入手しようとすると、海外の大学図書館でも困難なものが少なくない。

それにしても、こうした文献を手元に置いて19世紀末に至る大衆演劇の歴史と文化を考えるとき、「皇帝を楽しませるため」というあのガリヴァーの発案に、実はそういう専制君主制文化の限界をはるかに予見していたかのような作者の諷刺さえ感じられてくるのではないか。イギリス大衆演劇というテーマは、庶民の底力を得て、連綿と受け継がれ無限に広がっていく文化の魅力を深く滲み込んでいるように思われる。



【発行】

Athena Press

株式会社 アティーナ・プレス



〒112-0011 東京都文京区千石4-33-18

Tel: 03(3946)2117 Fax: 03(5977)8026

E-mail: eigyo@athena-press.co.jp

http://www.athena-press.co.jp

【取扱書店】